

第1回（平成25年度）「GKP広報大賞」審査員特別賞

部門名	事例名	
広報部門 自治体広報部門	姿の見える下水道の取組	浜松市

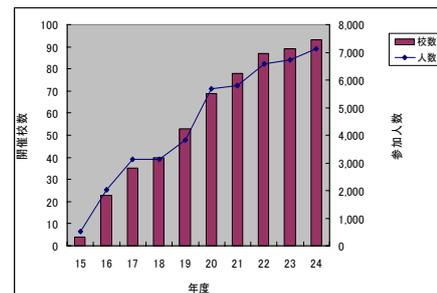
事例の概要

浜松市では「姿の見える下水道」の取組として、「みんなの下水道教室」の取組を中心として平成15年度より10年間継続して以下の内容で取組んでいます。

1. みんなの下水道教室

平成15年度より実施しており、小学校で好評を得るとともに下水道の理解の向上につながり、下水道の正しい使い方、接続率の向上についての効果が見込まれることから、翌年度より全小学校を対象に実施しています。

開催状況の推移グラフ



2. みんなの下水道コンクール

平成16年度より小学生を対象に「標語」「絵画・ポスター」のコンクールを開催しています。優秀作品に関しては、8月第一日曜日に住吉庁舎で開催の上下水道フェスタにて表彰しています。受賞作品は下水道広報看板や工事説明会資料等に掲載し、下水道のPRに活用しています。

庁舎入り口の掲示看板



3. はまつ下水道新聞

平成16年度より9月10日の下水道の日に年1回発行しています。下水道に関する内容で小学生でも理解できるような易しい内容で作成し、小学校、図書館などで掲示し、下水道に対する関心が深まるようにしています。

あまご放流の様子



4. アマゴの放流

（日本一きれいな川目指して、小学生によるアマゴの放流）

平成15年度より天竜区春野町の小学校4年生による「アマゴ」の放流を行い、同時に付近の河川清掃も行っています。

5. 下水道工事現場のイメージアップコンクール

平成16年度より下水道工事現場において、下水道工事の情報発信や、地域への貢献活動、環境負荷低減などの取組みに対して優秀な工事現場を対象としてコンクールを実施しており、下水道工事の円滑な施工、環境負荷の低減などに貢献しています。

エントリー事例の特徴

- 「みんなの下水道教室」は平成15年度より継続して実施し年々実施校が増加しており、現在では市内小学校開催率が非常に高く、小学校での開催が定着しており、市内全域での活動を行っています。平成24年度の実績 学校数 (94/105校 90.4%) 学級数 (239/247クラス 96.8%)
児童数 (7267/7425人 97.8%)

- 自主作成の学習教材を下水道教室開催後の自宅で保護者と共に再学習することをねらい配布している。
- 積極的に実施についての報道発表を行い、テレビや新聞の報道を通じて下水道のPRに役立っています。

みんなの下水道
学習教材